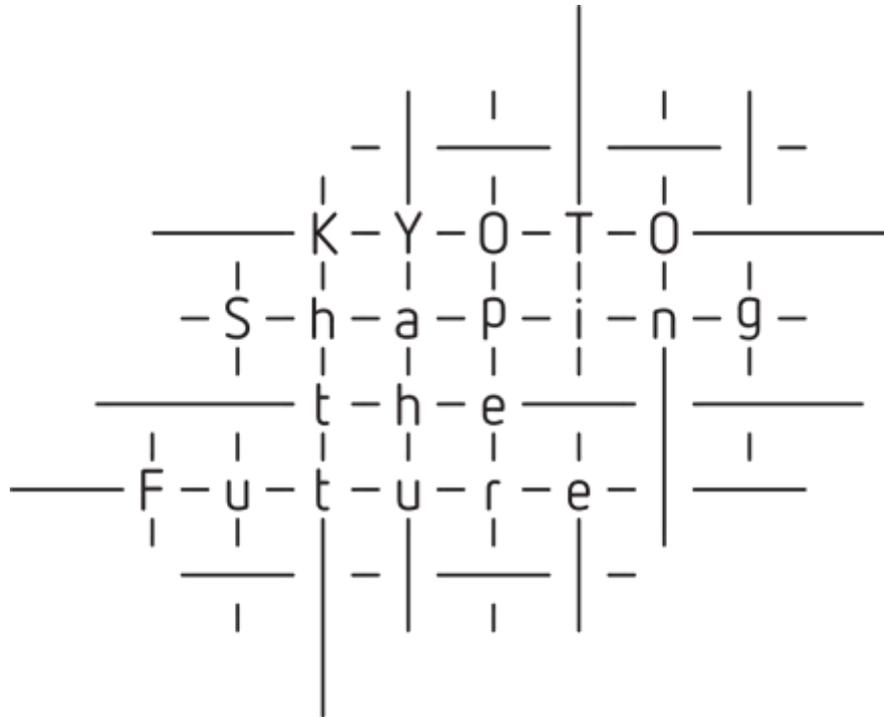


## KYOTO Shaping the Future | 食がつくる都市・京都

— 京都発の新たな都市デザインビエンナーレを3月に開催 —



### KYOTO Shaping the Future について

歴史都市としてのイメージの強い京都は、伝統を継承してきたと同時に、たえず周囲の魅力的な文物を吸収し、それを新しい価値として練り上げ、その時代時代における「未来」を発信してきた都市でもありました。

現代の京都から見えてくる未来都市ビジョンとはどのようなものになるのでしょうか。京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab では、さまざまなコラボレーターと協働し、京都の抱える豊富な歴史的遺産を解析し、社会のリデザインを提案します。KYOTO Shaping the Future—これが隔年開催の展示（ビエンナーレ）を中心とするプロジェクトの目指すところです。

### 第1回テーマ「食がつくる都市・京都」について

第1回目となる展覧会のテーマは「食がつくる都市・京都」としました。「食」は人間が生きていくうえの根源的な行為であり、そのありようそのものが人間を取り巻く都市や環境をかたちづくってきました。本展覧会ではまず食をめぐる循環構造を歴史的な視点からリサーチし、これを最先端テクノロジーと掛け合わせることで、「食」から派生する新たな未来都市の可能性を描きたいと考えています。

本事業は、「令和元年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業」であり、KYOTO STEAM—世界文化交流祭—2020の連携プログラムとして、実施します。

#### 【本リリースに関するお問合せ先】

京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab 担当：奥村

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1 E-mail: info@d-lab.kit.ac.jp 電話：075-724-7283

<http://www.d-lab.kit.ac.jp>



KYOTO STEAM—世界文化交流祭—実行委員会

〒606-8536 京都市左京区栗田口鳥居町2番地の1 京都市国際交流会館内

TEL.075-752-2212 FAX.075-752-2233 Email: info@kyoto-steam.org



KYOTO  
Design Lab

令和元年度日本博を契機とする  
文化資源コンテンツ創成事業

展示コンテンツ

<テーマ展示>

**都市模型プロジェクションマッピング**

模型（直径15mほど）を会場中心に配置し、そこに1000年以上にわたる都市空間の変化や食と都市の関係を表す映像を投影。都市の変化や日々の動きを体感できるインスタレーション。

**京都を形づくる食**

**コラボレーター | シャディ・ラーバラン&マニュエル・ヘルツ**  
京都における「都市」と「食」のダイナミックな関係を、6つのキーワード—生産、水、市場、流通、都市形態学、祇園祭—で読み解き、建築や料理の模型、錦市場で使用されている道具、リサーチの成果をあらわした図・写真・映像などにより可視化する展示です。

<プロジェクト展示>

**絹の未来**

京都の織物技術を支えてきた素材である絹をゲルやスポンジ状に作り替える先端技術と、デジタル工作機械を用いたデザイン手法を組み合わせることで、絹「だけ」で加工・製造された環境負荷が低く、かつ多様なニーズに応えることができる衣服のデザインプロセスを、素材実験の成果と共に展示します。

**Food Shaping the Future**

**コラボレーター | 大阪ガス株式会社 エネルギー技術研究所**  
さまざまな環境の変化がもたらす新たな「食」のニーズを調査した上で、近未来の食文化を構想し、それを可能にする技術とサービスを開発。開発したシナリオやプロトタイプについて、映像や実物を展示します。

**点群庭園**

**コラボレーター | クリストフ・ジロー研究室 [ETH Zürich]**  
山裾にひろがる詩仙堂の庭、現代建築の庭園（虎屋菓寮 京都一条店）、京町家の坪庭（一般民家）の大中小3つの庭を3Dスキャンして制作した映像を壁面プロジェクション展示。仮想環境ながら、現実には不可能な庭園のダイナミック体験を可能にします。

情報解禁日

2019年12月6日（金）

イベント概要

日時 | 2020年3月27日（金）—29日（日）10:00—19:00（27日のみ13:00～）

会場 | 京都市勧業館みやこめっせ 第3展示場B

住所 | 京都市左京区岡崎成勝寺町9-1

主催 | 京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab

共催 | KYOTO STEAM—世界文化交流祭—実行委員会

コラボレーター | シャディ・ラーバラン&マニュエル・ヘルツ、大阪ガス株式会社 エネルギー技術研究所、  
スイス連邦工科大学チューリッヒ校 クリストフ・ジロー研究室 ほか

コンテンツ制作 | 岡田栄造+水野大二郎+木下昌大+三宅拓也 [京都工芸繊維大学]

会場構成 | 武井誠+満田衛資 [京都工芸繊維大学]

アートディレクション | 西村祐一+綱島卓也 [rimishuna]

